

## 第6回 周南市市民憲章等検討委員会 会議録

日 時 平成17年12月14日(水) 午前10時から午前12時まで

場 所 周南市役所 3階 第6会議室

出席者 11名

・委員 7名

杉光 英俊(会長)、倉富 良枝、谷野 正昭、友森 淑子、西本 恵三、  
福田 尚子、山本 勝一

・事務局 4名

住田企画課長、原田係長、有馬、青木

### 会 議 内 容

#### 1 議 題

##### (1) 前回議事録の確認

- ・会議録の内容確認が時間的に間に合わなかったため、内容に異議があれば事務局まで連絡することとした。

##### (2) 前文の検討

会 長

- ・前回決めた基本案から修正案が提出されている(資料2)ので、その感想、ご意見を伺いたい。
- ・基本案は、ごく一般的で特徴がないので、周南市らしさを出したいということであるが、いかがでしょうか。

委員E

- ・提出されている修正案、  
、  
に共通しているのは“輝き”という言葉なので、こういう言葉を是非入れたい。

委員D

- ・修正案、  
、  
で“豊かな自然を大切にし、助け合い”とあるが、“助け合い”という言葉が何に対して助け合うのか、よくわからない。修正案のように“互いに”という言葉の前に入れるとか、何か言葉を加えないと意味が通じないのではないか。

委員B

- ・本文の中に“世界に誇れるまちをつくります”という表現があるので、周南市として“誇り高い”まちをつくるという意味で、前文にも“誇り高い”という言葉が入っていても良いと思う。

委員H

- ・本文の中にも同じ言葉があるので、基本案のままでも良いと思い、修正案を提出しなかった。

#### 委員 H

- ・本文と前文で、同じことを2度言わなくても良いとするならば、基本案がスッキリとして良いと思う。

#### 委員 C

- ・言葉を入れれば入れる程、文は長くなるし、その説明のために、また言葉が増えていって長くなっていくということを考えると、基本案で良いのかなと各修正案を比較して感じる。

#### 委員 B

- ・前文は言葉を盛り込んで文章にしていくという点からすると、本文を総括するのが前文なので、ある程度は長くても言葉が重なっても仕方がないのではないかと。

#### 委員 F

- ・修正案は全て一つの文章が長く、言いづらい、読みづらい。そう考えると基本案が一番良いと思う。または、色々な言葉を入れて句読点で区切るかのどちらかだと思う。

#### 会 長

- ・周南市はどういう市なのかということがどこにもないので、どこかに少し入れたいと思う。自分達のまちがどういうまちか、どういう状況かということを書いて、そこから出発するという形も考えられると思う。
- ・そういう意味では修正案、は、自分達の住んでいる周南市がどういう環境にあるかを、簡単にではあるが表現している。
- ・基本案は、目標はハッキリしているが、周南市がどんなまちかという点は表していない。今の周南市がどういうまちで、更にこんなまちにしたいということを簡潔に表すということも、意味があることだと思う。
- ・周南市を知らない人にとっては、周南市がどういうまちかという点が全くわからない。どういう環境の中であって、さらに“良いまちをつくる”ということが表れた方が良いのではないかと。
- ・それでは、色々意見も出たので、各修正案を提出していただいた方に、補足説明をしていただきたい。

#### 修正案 説明

- ・“助け合い”という言葉は、当初、入れずに考えたが、それでは何となく面白くないと感じたので入れてみた。しかし、結果的に長くなり、また、突飛な言葉となってしまった。読み返してみると、やはり基本案が一番良いのかなという気がする。
- ・本文の中にも“自然を愛し”という言葉があるので、無理して入れる必要はなかったが、入れるという前提で考えたために、こういう形になってしまった。

#### 会 長

- ・先程言ったように、基本案には周南市の現状に関する表現がないので、“豊かな自然を大切に”という言葉は、意味があると思う。

#### 修正案、説明

- ・修正案：“共に輝く”という言葉を入れたいと思いから入れたものであり、“助け合い”という言葉も結果的に入れた。再度、読んでみるとない方が文が繋がるように思う。
- ・修正案：“定めます”では面白くないので、“挑戦します”という毛色の変った文を考えてみた。

#### 事務局

- ・案は欠席委員からのものであるが、特に意見等は伺っていない。
- ・案も欠席委員からのものであるが、これは意見を伺っているので説明します。
- ・修正案 説明：基本的には基本案に彩りを添えたもので、“周南市をつくるために”という言葉を加えた関係で、主語を“わたしたちは”に変更し、“いきいき”や“輝き”等は総合計画の中の基本方針の言葉を入れ、市民自らがこの憲章を宣言し、制定し実践するという意味で“その実践に努めます”という言葉を加えた。

#### 修正案 説明

- ・本文の各項目で色々な具体的なものが出ているので、それを集約したものを前文として捉えた。基本案は簡潔に書かれているが、まず周南市がどういう市であるかの説明と個人としての自分を高め、それを互いに助け合って誇り高いまちにしたいという思いから作った。

#### 修正案 説明

- ・“山と海と産業に恵まれた”という言葉で周南市の概況を説明し、“ともに”の部分で2市2町の合併や男女共同参画も含めて、輝くことと発展とを願って作った。

#### 会長

- ・以上、修正案の作成委員からの説明をお伺いしたが、“豊かな自然”、“共に輝く”等を入れて、再度考えてみるか、それとも基本案のままで良いかについては、いかがでしょうか。

#### 委員D

- ・大人は簡潔な文章で良いかもしれないが、子供達が学校で唱和する場合には、もう少し噛み砕いた表現があった方が、子供の心に響くような気がする。
- ・自分達の育ってきた環境というものを子供達は感じているだろうから、ただ短い言葉が並んでいるだけでは寂しいように思う。本文は噛み砕いて表現してあると思うので、前文にもそういう表現があっても良いと思う。

#### 会長

- ・大人にとっては簡潔でこれで良いかもしれないが、子供にとっては硬い印象を受けるかもしれない。もう少し子供を含めて心に訴える何かが欲しい気がする。

#### 委員E

- ・周南市がどういうまちかを説明する言葉が必要だと思う。周南市は綺麗なまちという意見もあり、“山と緑の豊かな自然に恵まれた周南市を愛し”という表現のある修正案、のように、子供達に再認識してもらえる文が良いと思う。

委員 C

- ・“愛する”のは当然のことなので、わざわざ“愛し”という言葉は必要ないのではないか。

委員 B

- ・当然ではあるが、浸透していくためには柔らかい言葉は必要ではないか。

委員 C

- ・必要ないと思うのは、市民憲章は外へ示すものではないし、他市に周南市をPRするものではないと思っているからである。
- ・今後、市民が規範としていくものが憲章であり、例えば東京の人に宣伝するために定めるものではないと思う。だから、飾り言葉は必要ないと思う。

会 長

- ・これは憲章というものをどう考えていくかという位置付けの問題である。市民憲章は他市の人が見た時に、その市というものを見る第一歩であり、外から見た時の看板であると思う。市民だけでなく日本全国の人が見る表看板だと考えた方が良く思う。
- ・インターネットで全国へ情報が発信される時代の中で、どんなまちが見る場合、市民憲章という項目が必ずある。そういう意味では表に出て行くもので、市民憲章は市の顔として考えた方が良く思う。

委員 C

- ・我々が他市の市民憲章を目にする機会は、作っている今の段階だけだと思う。全国的に市民憲章の運動が展開されてしかるべきであるが、ほとんど展開されていないのが実情であり、本気で実践していこうと思えば、莫大な時間とお金がかかるので、周南市としても今後、先細りしていく気がしてならない。

委員 B

- ・子供達に、自分達は山も海も豊かな自然に恵まれた周南市の一員なんだということ再認識させ、また、目を向けさせるきっかけにもなるのではないかと思う。

委員 D

- ・長くなくても、一言、二言あれば表現できると思う。

会 長

- ・周南市というのは、海と山、そして産業もある、小さいけれども非常に調和し、まとまったまちである。ただ、中にいる人はそれに気が付かない。山口県内を見ても、他市にはない良い環境がある。だから、市民は周南市に対してはもっと誇りを持って良い。誇りを持って更にそれを発展させていくために、皆で協力していこうという市民憲章であって欲しいと思う。住んでいると当たり前と思うかもしれないが、決して当たり前ではないという部分の認識が必要ではないか。
- ・“愛し”という表現よりもむしろ、“誇りを持って”と書き、周南市に誇りを持って更に発展させるために協力しましょう、というものにしたい。
- ・私としては、“豊かな自然を大切に”または“山や海の豊かな自然に恵まれた周

南市を愛し” のという言葉を入れたコンパクトにまとまった前文にしたい。

委員 E

・子供達がわかりやすいキーワードは、山と海なので、これを入れて欲しい。

会 長

・今言われたキーワード、言葉を整理すると。

「わたくしたちは、豊かな自然を大切にし、共に輝きながら～」と「わたくしたちは、山と海の豊かな自然に恵まれた周南市を愛し～」の2つのフレーズを基本として、後に何を付け加えるかである。最後は、「この憲章を定めます」で終わるという形になる。これに関して、ご意見をお伺いしたい。

委員 C

・“山と海の豊かな自然” というと、豊かな自然の中に山と海が含まれているのではないか。“山と海” が “豊かな自然” か、どちらを選択するかである。

委員 D

・“大切にし” という表現は、これを守り、後世に残していくということをお子達にもわかってもらいたいのので、入れたい。

委員 E

・私は、周南市を物体、対象として捉えて“周南市を愛し” という言葉を入れたい。

会 長

・“豊かな自然を大切にし” という表現は確かに良いが、本文の中に“自然を愛し” という表現がある。

・“自然を大切にし” という言い方が能動的という気がする。“愛する” というのは心の問題だけれども、“大切に” というのは行動を伴うような意味を持っているように思う。

委員 B

・愛しているから大切にしないか。

会 長

・そろそろご意見も出尽くしたようですが、基本案を修正するという事でよろしいですね。どう修正するかについて、新しい案はありませんか。

委員 C

・基本案の“快適で” という言葉を取り “豊かな自然を大切にし” という言葉を入れた修正案 が良いと思う。

事務局

・基本案でもそうですが、“安心して暮らせるまち” という表現は、本文にもある言葉であり、本文と前文で全く同じ言葉が出て来るのはどうかという気がする。

会 長

・確かにあまりにも重なり過ぎている。そういう点では“周南市を愛し” という言葉は良い言葉ではないかと思う。

委員 C

- ・市を愛するという表現が、しっくりこない。

委員 D

- ・前文を読んですぐ本文を読むと、前文で“周南市を愛し”とあり、すぐ本文で“自然を愛し”が出て来る。

会 長

- ・最後に全体を通して考えてみたいが、本文の“愛し”を“大切にし”という表現に変えるのも一つの考え方であるという点を、頭の中に置いておいていただきたい。
- ・ここまでの意見をまとめ、「豊かな自然を大切にし、共に輝きながら」とするか、「山と海の豊かな自然に恵まれた周南市を愛し」とするかを決めたいと思う。
- ・私は、周南市を愛するが故に色々な問題を考えるということであって、豊かな自然を大切にすることがために色々な問題を考える訳ではないという点からすると“愛し”という表現の方が良いと思う。

委員 E

- ・“周南市”という言葉の前に自然に関する言葉があるので、しっくりこないのではないか。周南市には魅力があると思うし、“自然”という言葉に固執すると本文でまた出て来るので、例えば“魅力あふれる”というような、何か別の形容詞を付けて周南市を表現する方が良いと思う。

事務局

- ・前文にも本文にも“自然”という言葉が出て来る点はどうでしょうか。

委員 H

- ・“山や海の豊かな自然”は実際にある訳だし、“豊かな自然を大切に”するのは当然のことなので、あえて入れない。そして、周南市としての一体感が今ひとつ生まれていない部分が確かにあるので、あえて“周南市を愛し”という言葉を入れた方が良い。

会 長

- ・それでは、“自然”に関する部分を削り、「わたくしたちは周南市を愛し、ともに輝きながら、心豊かに暮らせるまちをめざして、この憲章を定めます」というのはどうでしょうか。
- ・本文で“つくります”と謳っているので、前文は“めざして”という表現とした。

委員 B

- ・これなら、わざわざ前文で“自然”を挙げる必要はなく、本文でそれぞれの項目が出て来て、そして最後に“世界に誇れるまちをつくる”となる。非常に良いのではないだろうか。

委員 C

- ・“世界に誇れるまち”という表現は、あまりにも大上段に構え過ぎているような気がして、それぞれの分野で誇れるまちになれば良いのではないかと思う。

委員D

- ・前文で“ともに輝きながら”と謳い、本文では“自らが輝き”とあり、同じ輝くのも対象が違ってとても良いと思う。

会 長

- ・それではこれを委員会案ということでよろしいですか。

前 文

「わたくしたちは、周南市を愛し、ともに輝きながら、心豊かに暮らせるまちをめざして、この憲章を定めます。」

### (3) 前文、本文を通しての確認及び修正(全体の見直し)

会 長

- ・前文を見ながら再度、本文を見て項目と内容がこれで良いかどうか、修正があればご意見をいただきたい。
- ・私からは、先程、申し上げたが(環境・自然)の項目で“自然を愛し”を“自然を大切にし”という表現に変えた方が良いと思う。

委員C

- ・“大切にし”の方が具体的な感じがして良い。

会 長

- ・では“愛し”を“大切にし”に修正します。他に項目に関して何かありますか。

事務局

- ・欠席の委員より「(福祉)の項目で、福祉だけで括ってしまうのはいかがだろうか。ここには他に安全・奉仕・ふれあい・互助・共生・人権等を加えた方が良いのではないか」というご提案を伺っている。

会 長

- ・確かに、本文にはこれらの内容が含まれているので、もっともな意見である。

委員C

- ・奉仕・ふれあい・互助・共生、また広い意味では人権も、福祉ということで括れるので、この項目は(福祉・安全)ということになるのではないか。

委員D

- ・安全だから安心して暮らせるということなので、(福祉・安全)で良いと思う。

会 長

- ・それでは、項目としては(福祉・安全)に修正します。

委員C

- ・(国際・伝統・文化・教育)は分野が多い。伝統も教育も広い意味で文化に含まれるという点で(国際・文化)で良いのではないか。

会 長

- ・それでは(国際・文化)に修正します。

委員 C

・(勤労・産業・経済)の勤労という項目は必要ないのではないか。

会 長

・(産業・経済)で十分ですね。

委員 C

・(健康・スポーツ)も何か良い言葉がないか考えているが、いい言葉がない。

委員 D

・(健康・スポーツ)は、これが一番わかりやすいと思う。

会 長

・特に良い言葉がないようなので、(健康・スポーツ)はこのままにしておきます。  
・それではこれで、前文、本文とも確認、修正しました。これを原案としたいと思う。  
ありがとうございました。

その後、文中の句読点の有無、単語の表記方法(漢字か平仮名か)、本文の番号表記(全て1にする、1から順番に2、3、4とするか)及びその読み方(いち、ひとつ)等について審議した。

その結果

(前文)

|   |
|---|
| わたくしたちは周南市を愛し、ともに輝きながら、心豊かに暮らせるまちをめざして、この憲章を定めます。 |
|---|

(本文)

|         |          |                            |
|---------|----------|----------------------------|
| 環境・自然   | ひとつ<br>1 | 自然を大切にし 水と緑の美しいまちをつくります    |
| 福祉・安全   | ひとつ<br>1 | みんなで助け合い 安心して暮らせるまちをつくります  |
| 産業・経済   | ひとつ<br>1 | 元気に働き 豊かで活力のあるまちをつくります     |
| 健康・スポーツ | ひとつ<br>1 | スポーツに親しみ 健康で明るいまちをつくります    |
| 国際・文化   | ひとつ<br>1 | 教養を深め 自らが輝き 世界に誇れるまちをつくります |

に決定した。

#### (4) 市の花と木の意見募集結果について

事務局

資料3及び参考資料を基に、11月の1月間に行った市民から募集した「市の花、市の木」の集計結果について報告

・花、木とも一般の市民約400人、学校から約80人の意見をいただいた。

- ・徳山、新南陽が旧市が同じ花、木であったので同一の集計をし、熊毛、鹿野は傾向をみるために分けて集計した。
- ・応募の絶対数から、徳山、新南陽の旧市の花サルビアが全体の40%以上、木はクスノキが50%以上を占めた。
- ・熊毛、鹿野は旧町の花がやはり多かったが、サルビアもある程度あった。木は旧町の木も多かったが、最も多かったのはクスノキであった。
- ・理由としては、サルビアは開花時期が長い、親しまれている等、クスノキは樹勢が良い等が多くあった。

#### 会 長

- ・募集結果を見ると、大勢は決まっているようだが、多くの市民の方からご意見をいただいているので、数だけで決めることなく、やはり理由を考えながら選定したいと思う。次回までに考えをまとめておいていただきたいと思う。

次回の会議日程を確認し、閉会した。